

研究課題番号	3-1704
研究課題名	行政報告データ等の活用による自治体レベルの物質循環分析手法の開発と応用
研究実施期間	平成29年度～令和元年度
累計予算額	56,440 千円
研究機関名	早稲田大学
研究代表者名	近藤 康之

1. 評価者の指摘及び提言概要

行政報告データを活用して物質循環分析を行い、自治体等の政策決定に役立てるとい
う着眼点はよく、政策的に価値ある情報をシステムティックに創出する目的は一定程度
達成できている。廃棄物の循環量を評価する手法の提案については理解でき、真のリサ
イクル率の導入は大きな成果であろう。自治体レベルでの活用し易さと循環率を向上さ
せる対応策については不明確である。多くの自治体での使用感と課題、データの継続的
蓄積とアップデートなど、フォローアップして、進化することを期待したい。国民との
科学技術対話、マスコミへの公表がなかったことは残念である。

2. 評点

総合評点：A